

コンピュータ概論 A/B

-- MS-Word --

数学科 栗野 俊一 (TA: 北野拓也 [院生 2 年])

2016/12/06 コンピュータ概

伝言

私語は慎むように !!

□ 担任からの連絡

○ 学生証での出席は済ませましたか？

▶ 入口の脇の出席装置に学生証を翳す

□ 席は自由です

○ できるだけ前に詰めよう

□ 色々なお知らせについて

○ 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

□ VNC Server Address : 10.9.209.18:0

○ Password : vnc-comp-2016

□ 本日利用するファイルを、今の内にダウンロードしておこう

今後の予定

□ 今後の予定(後ろから)

○ 2017/01/24 (講義最終日)

▶ 試験を行う

○ 2017/01/17 休日

○ 2017/01/10 (講義最終日前)

▶ 模擬試験を行う / 教室変更 (1434 教室)

▶ 2017/01/10 と 2016/12/20 の内容を交換するかもしれない

○ 2016/12/27 / 2017/01/03

▶ 冬期休暇期間中 : この講義はない

○ 2016/12/20

▶ Power Point とプレゼンテーション

○ 2016/12/13 (次週)

▶ MS-Word と MS-Excel の連携

○ 2016/12/06 (本日)

▶ MS-Word

前回(2016/11/29)の内容

□ 講義

- 暗号：対称鍵暗号と公開鍵暗号方式

□ 演習

- VeraCrypt による「暗号化ドライブ」の利用(対称鍵暗号の利用)
 - ▶ 「暗号化ドライブ」の作成
 - ▶ 「暗号化ドライブ」の利用
- Kleopatra による「暗号化メール」の利用(公開鍵暗号の利用)
 - ▶ 鍵対の作成 / 公開鍵の提出

本日(2016/12/06)の予定

□ 講義

- MS-Word の基本 / 公開鍵暗号の利用

□ 実習

- [演習 1.1] 講義資料の配布 (skype を使います)
 - ▶ 資料は講義外配布禁止です (他の人にコピーしない事 !!)
 - ▶ 暗号フォルダ形式(VeraCrypt) です
 - ▶ skype で配布します (パスワードは講義中に提示します)
- [演習 1.2] MS-Word から PDF 形式への変換
 - ▶ [File] -> [Export] -> [pdf 形式で保存]
- [演習 1.3] 課題の作成
 - ▶ 講義資料に従ってパンフレットを作成する
 - ▶ 課題は MS-Word で作成し、それを PDF に変換して提出
- [演習 2] Kleopatra による暗号メールのやり取り
 - ▶ 前回(2016/11/29)の資料を利用

前回 (2016/11/29) の課題

- 前回 (2016/11/29) の課題 (二つあるので注意)
 - VeraCrypt のボリュームを作成し、CST Portal から提出
 - ▶ 表題 : VeraCrypt のボリュームファイルの提出
 - ▶ ファイル名 : 20161129-XXXX.hc (XXXX は学生番号)
 - ▶ 詳しくは、配布した sample-20161129.hc の内容を参照
 - 自分専用の鍵ペアを作成し、「公開鍵ファイル」を提供する
 - ▶ 表題 : 「公開鍵ファイル」の提出
 - ▶ ファイル名 : 20161129-XXXX.asc (XXXX は学生番号)
 - ▶ 詳しくは、配布した kurino-pubkey.asc の内容を参照

今回 (2016/12/06) の課題

□ 今回 (2016/12/06) の課題

○ 次のファイルを提出しなさい

- ▶ 表題 : MS-Word でパンフレット作成
- ▶ ファイル名 : 20161206-QQQQ.pdf (QQQQ は学生番号)
- ▶ 詳しくは、配布した sample-20161206.pdf の内容を参照

MS-Word

□ MS-Word とは

○ Document and Word Processing Software - Microsoft Office

- ▶ いわゆる「ワープロ」ソフト(の代表格)
- ▶ MS-Excel と並んで MS 社の定番 (MS-Office の中核)
- ▶ 最新版は Office 2016 (or Office 365)

○ テキストでない文章の作成/印刷ソフト

- ▶ 文字情報だけでなく、文字の飾り情報なども含まれる
- ▶ vs. サクラエディタ (テキストエディタ)

□ WYSIWYG (ウィジウィグ)

○ What You See Is What You Get

- ▶ 見たまま(ディスプレイ上)が得られる(印刷される)

○ vs. TeX : 文章の形式を指定するので、見た目と印刷には差がある

○ 短い文章の作成には最適

- ▶ 「結果」を見ながら修正できる
- ▶ 思いとおりにレイアウトできる

Word vs TeX

□ Word vs TeX

- 共に Tool の利用目的は「資料」を作る事
- 機能的には被っている：どちらを使うべきか？
 - ▶ 結論は簡単：状況に応じて「使い分け」ろ (工学の発想)
- 得失
 - ▶ 文章の長さ：短い(W) / 長い(T)
 - ▶ 文章の再利用：使い棄て(W) / 使いまわし(T)
 - ▶ 表示への拘泥：細かい事が気になる(W) / おまかせ(T)
 - ▶ 連携：Office で閉じている(W) / 色々な tool と組合せたい(T)
 - ▶ 共有：色々な人(W) / 数学科・学術関係(T)
 - ▶ 数式：あまり使わない(W) / 沢山使う(T)
 - ▶ プログラム：しない(W) / する(T)
 - ▶ 発想：結果で考える(W) / 要因で考える(T)

PDF

□ PDF とは ?

○ Portable Document Format (by adobe 社) の事

- ▶ 色々な所で利用できる、資料の形式
- ▶ 最終的に印刷する形式 (どこでも同じ形になる事を保証)

○ 形式が公開されている

- ▶ 形式の仕様も公開 : 「独占」されていない
- ▶ 無料の viewer も公開 : adobe reader / 他に沢山 (例 : evince)

□ PDF File の作り方

○ 基本は Acrobat (有料 !!)

- ▶ PDF の公式編集ソフト

○ 他のツールからも作成できる

- ▶ TeX -> dvipdfmx
- ▶ MS-Word

○ 配布形態として望ましい性質 (デファクト・スタンダード)

- ▶ 環境に依存しない
- ▶ 特別な Tool が不要 (tool が free で公開)
- ▶ 編集が(ちょっと)困難 : オリジナル(著作者)の権利を保持したい

演習 1 : MS-Word

□ [演習 1.1] 講義資料の配布

○ 情報センターの公開講座(Office 2010 用)の配布資料

▶ (C) 2010-2016 恵藤浩朗 先生 (海洋建築学科) / 講義外配布禁止

▶ 配布 : 暗号フォルダ形式(VeraCrypt)

▶ パスフレーズ : skype で講義中に提示します

○ ms-word-2013.pdf (上記の劣化版)

▶ 内容の一部を抽出し、図を MS-Office 2013 の物に入れ替えた

□ [演習 1.2] MS-Word から PDF 形式への変換

○ [ファイル] -> [エクスポート] -> [pdf 形式で保存]

▶ PDF 形式のファイルを作成できる

□ [演習 1.3] 課題の作成

○ 講義資料に従ってパンフレットを作成

□ [演習 1.4] PDF ファイルの作成

○ [ファイル] -> [エクスポート] -> [PDF 作成]

□ [課題提出]

○ 20161206-QQQQ.pdf (QQQQ は学生番号) を提出

▶ 配布資料 (sample-20161206.pdf) を参照の事

演習 2 : Kleopatra による暗号メールのやり取り

- [演習 2] Kleopatra による暗号メールのやり取り
 - 前回(2016/11/29)の資料を参照